

どう対処する？

上層階のオフセット

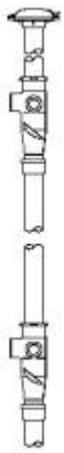
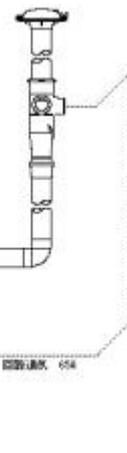
集合住宅の住戸プランの多様化によって、芯を通して鉛直に配管されるべき排水立て管の芯ズレを生じ、オフセット配管となることがあります。また、伸頂通気管が最上階の住戸専用部の床下を經由して、大気に開放されるようなケースもあります。

上層階が45°や90°のオフセット配管となった場合や、イレギュラーな伸頂通気配管となった場合に、排水性能がどう影響を受けるか、当社排水実験タワーでの実験結果を以下に報告します。

上層階オフセット配管時の管内圧力分布

排水実験タワーの9Fと8Fの間に、オフセットを設け、以下の条件で実験を行いました。

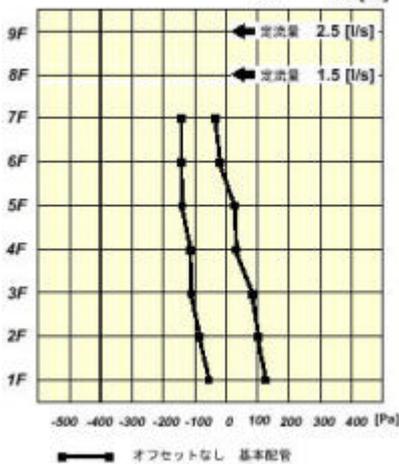
実験条件

Type	A	B	C	D
オフセット配管形態	ストレート オフセット無	45° オフセット	90° オフセット	90° オフセット+回路通気
				
供試継手	C P 6 0 K 1 0 0 x 8 0 - 6 5 (L)			
立て管径	1 0 0 A			
オフセット位置	9 F と 8 F の 中 間			
横主管径	1 2 5 A (L J - K 1 0 0 x 1 2 5)			
横主管形態	水平 2 曲 が り (2,500mm + 2,500mm + 2,000mm)			
排水負荷	定流量 4.0 [l/s] (9 F : 2.5 [l/s]、 8 F : 1.5 [l/s])			
試験方法	HASS218「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」に準拠			

実験結果 (管内圧力分布)

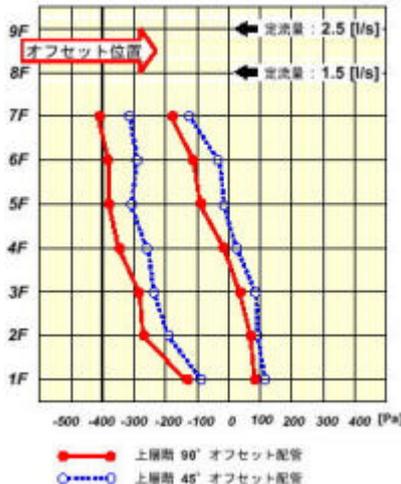
TypeA

オフセットなし 基本配管 負荷 9F: 2.5 [l/s]
8F: 1.5 [l/s]
合計 4.0 [l/s]



TypeB, C の比較

上層階 90° オフセット配管 負荷 9F: 2.5 [l/s]
上層階 45° オフセット配管 負荷 8F: 1.5 [l/s]
合計 4.0 [l/s]



TypeB, D の比較

上層階 90° オフセット配管 負荷 9F: 2.5 [l/s]
回路通気65Aを取った場合との比較 負荷 8F: 1.5 [l/s]
合計 4.0 [l/s]

